

Bulletin
of
Junior
College
Library
Association

私立短期大学図書館協議会

会報

ISSN 0389-4452

発行者：竹内紀吉
発行所：私立短期大学図書館協議会
〒285-8567 千葉県佐倉市山王1-9
敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター内
電話 043-486-6793

2004. 2 No.54

平成15年度

短期大学図書館全国研修会開催

テーマ『図書館をデザインする』



日時：平成15年9月11日（木）～12日（金）
会場：福岡ガーデンパレス
参加者：99名
主催：私立短期大学図書館協議会
担当地区：同協議会九州地区協議会

1日目

基調講演『自館の魅力とイメージアップ戦略』
押樋 良樹氏（図書館コミュニケーションデザイナー）
研修・講義『図書館を鮮度アップさせる』
特集展示・企画の事例に学ぶ』
押樋 良樹氏（図書館コミュニケーションデザイナー）

2日目

講演『大学短大図書館における変化の諸相』
—急速に古くなる従来の図書館員像—
二村 健氏（明星大学人文学部教授）
分科会 第1分科会『図書館員をデザインする』
第2分科会『図書館資料をデザインする』
第3分科会『図書館サービスをデザインする』

平成15年度全国研修会は、九州地区が担当した。ここ数年インターネットと参考業務に関する研修会を継続して行い一定の成果を得られたため、今年度は新たなテーマを設定することとした。全体テーマとしては、昨年度全国研修会で好評であった押樋良樹氏の基調講演内容を継続発展させ『図書館をデザインする』とし、さらに分科会でそのテーマを「人・資料・サービス」の3つの観点から検討することとした。

開会挨拶で竹内紀吉会長は、短期大学図書館が置かれている困難な状況と、このような状況だからこそ、協議会の意義が問い直されているということ述べられた。また今回のテーマである図書館デザインは、わが国の図書館サービスの中で最も立ち遅れている分野であると思われるが、図書館職員の発想の転換は現在の厳しい状況をどう切り開いていくかということに繋がっている。そういう観点で、この研修会を飛躍の糧にしてもらいたいと述べられた。

1日目の基調講演は、図書館コミュニケーションデザイナーである押樋良樹氏により『自館の魅力とイメージアップ戦略』と題して行われた。協力館の館内写真を見ながら、時に厳しく時にユーモアを交えながらなされる講評は非常に刺激的であり、自館を省みるきっかけとなった。

その後、引き続き同氏により『図書館を鮮度アップさせる 特集展示・企画の事例に学ぶ』と題して研修・講義が行われ、協力館が作成した勧誘ポスターと特集展示企画について講評がなされた。ポスターは「図書館へ行く」、展示は「失恋」をテーマに、各館の創意工夫で個性的なものができあがっており、非常に興味深いものであった。また、それに対する押樋氏のアドバイスは具体的で、すぐにも自館に応用できる内容であった。

その後開かれた情報交換会にも多数の参加があり、日

頃の業務について情報を交換したり、参加者との親交を深めるなどして、和やかな歓談のひとつを過ごすことができた。

2日目の講演は、明星大学人文学部教授である二村健氏により『大学短大図書館における変化の諸相 - 急速に古くなる従来の図書館員像 -』と題して行われ、図書館の現状やこれからの方向性が示された。

分科会では、テーマごとの特色を生かし、グループワーク、パネルディスカッション、アンケートなどを取り入れることで、それぞれの観点から『図書館をデザインする』ということについて理解を深めることができた。またその後、代表者による分科会報告が行われ、各分科会の成果を知ることができた。

九州地区での開催である上、当日は悪天候の影響もあり、参加者が少ないのではないかと心配されたが、幸いたくさんの方に参加していただき、無事盛況の内に全国研修会を終えることができた。

短期大学図書館にとって非常に厳しい状況が続いているからこそ、研修会で得られる知識や人脈の重要性は増しており、それらを今後の発展につなげていく必要性を再認識させられた。

基調講演『自館の魅力とイメージアップ戦略』

押樋 良樹氏 (図書館コミュニケーションデザイナー)

図書館アイデンティティとイメージマーケティングで核になるのが「図書館員の存在」である。「アイデンティティの目標＝見られたい像」があって初めて「→デザイン→コミュニケーション→利用者のイメージ確立」という循環構造ができる。

図書館員の存在が図書館であり、魅力ある図書館とは図書館員の能力そのものごとである。しかしながら、司書の資格を持っているから司書なのではない。見られて、言われて初めて、司書である。

自館の魅力についても、常日頃から分析し、何を伝えれば魅力的になるかということ意識し、それをメッセージとして発信することが重要である。図書館員の姿・行動・立ち居振舞い・話し方全てがデザインであり、そのデザインをどうコミュニケーションするかによってイメージができていく。

そして、ブランドコミュニケーションと言うが、一回イメージを作ったら、それをどう維持し高めていくのかという意識を常に持たないと、このイメージはあっという間に崩れていく。継続するにはかなりの意識が必要である。

講演『大学短大図書館における変化の諸相

— 急速に古くなる従来の図書館員像 —

二村 健氏 (明星大学人文学部教授)

公共図書館界では、ビジネス支援など新しい図書館モデルを模索している。アメリカでは、利用者のネットワークへの依存とそれに伴うレファレンス・サービス件数の減少、e-library産業の台頭といったことに危機感を抱き、24時間対応できるe-referenceサービスなどに力を入れるようになっている。

大学・短大図書館を取り巻く環境も非常に厳しくなっている。本を読まない学生の増加、遠隔学習やe-learningへの対応、業務の外部位化が進むことによる図書館組織の脆弱化といった問題がある。

Teaching Libraryという概念は、1958年にミシガン大学で提起され、その後利用教育に発展した。しかしアメリカなどでは、現在もTeaching Libraryという名称が多数見られる。利用教育は大学の教育プログラムとの結びつきが不十分であり、進歩する電子情報源の部分を補うためにも、もう一度Teaching Libraryに着目してはどうかと思う。

今後は、教養教育への積極的な関与、Teaching Library化、遠隔学習図書館サービスの実施、オンライン・チュートリアルの開発などが、さらに必要となるであろうと思われる。



第1分科会 図書館員をデザインする

「図書館員に必要なプログラム

— 今一度、ティーチング・ライブラリーを考える —

指導助言者 二村 健氏 (明星大学人文学部教授)

担 当 館 九州大谷短期大学図書館

指導助言者に二村健氏(明星大学人文学部教授)を迎えグループワークを行った。

まず、二村氏により作成された5項目からなるチェッ

クリスト（学内環境、施設・設備、図書館オリエンテーション、Teaching Library 機能、HP による情報提供）を用いて自館の状況を把握した。各グループ内で相互に照合し優秀館を決定。その館をさらに磨き上げるため、各項目中の理想像を実現できない理由を把握し、それをどう克服するか。克服に要する時間が短期的なものの中長期的なものに分け、その戦略について討議した。

戦略として、教員や他部署との連携を図るほか、シラバスを活用した授業内容の把握、他図書館の動きや時代相のリサーチ、ホームページの活用、図書館間の共同プログラムによる情報交換会や勉強会の開催など、様々なアイデアが出され、短期大学図書館の現状に即した理想のティーチング・ライブラリアン像を描き出すことができた。

での読み聞かせ等により読書好きへと繋がった例等を報告。

□杉原由梨氏（佐賀女子短期大学学生）

幼児期の両親からの読み聞かせにより、読書好きになったこと。また、学校図書館に足繁く通い、現在、司書を目指すに至った体験談。

第3分科会 図書館サービスをデザインする

「図書館職員のサービス意識を点検する」

指導助言者 竹内 紀吉氏（私立短期大学図書館協議会会長）

担当館 香蘭女子短期大学図書館

福岡国際大学・福岡女子短期大学図書館

第2分科会 図書館資料をデザインする

「短大生は本を読むか」

指導助言者 白根 恵子氏（佐賀女子短期大学助教授）

担当館 佐賀女子短期大学図書館

東和大学・純真女子短期大学附属図書館



それぞれの立場の5人を迎え、短大生の「読書離れ」の原因や対策の考察がなされた。コーディネーターは白根恵子氏（佐賀女子短期大学助教授、図書館副館長）。各パネリストの発表要旨は以下のとおり。

□若菜啓孝氏（東和大学教授、図書館長）

学生の意見を反映させた図書館の改装、学生のための資料見直しの実施及び検証報告。

□徳永さゆり氏（佐賀女子短期大学図書館司書）

短大生の図書館利用の現状報告及び学生による展示・ポスター製作による利用促進報告。

□中野隆之氏（福岡県立玄界高等学校司書教諭）

高校生の読書実態、高校生を読書に誘うための工夫、司書の重要性について、体験を通しての報告。

□徳永明子氏（きりん文庫かすが主宰）

乳幼児期の「言葉かけ」の重要性を説く。大学の授業



九州地区加盟館10館（担当館2館、協力館8館）で実施した学生アンケートの調査結果を報告し、それをもとに意見交換を行った。

2年生を対象（3年生対象1館）としたアンケート調査は、図書館に対する不満度、図書館サービスの認知度、インターネット利用状況などについてたずねた。結果は個々の項目について学生の不満がわかっただけでなく、実施館の10館を比較することにより、自館だけのアンケート調査では得られないポジションを認識でき、次の図書館サービスを考える上での相対評価ができた。利用の評価が高い図書館、サービスの認知度が高い図書館、図書館員の対応のよい図書館などそれぞれのカラーがあった。

また、参加館のサービスの現状や、学生と図書館職員とのコミュニケーションのあり方について、意見交換を行った。

全国研修会アンケート集計結果

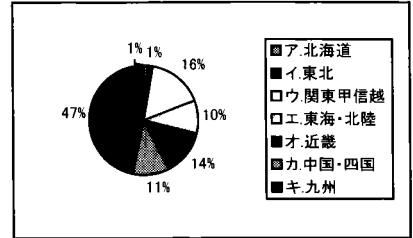
実施日 平成15年9月11日（木）～12日（金）

受研修者総数 99名（実行委員28名含む）

回答件数 73件（有効回答数73 回答率74%）

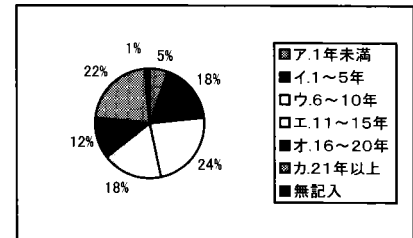
1. あなたの図書館はどの地区に所属しますか？

ア. 北海道	1人
イ. 東北	1人
ウ. 関東甲信越	12人
エ. 東海・北陸	7人
オ. 近畿	10人
カ. 中国・四国	8人
キ. 九州	34人



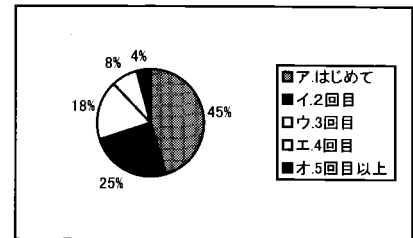
2. 図書館での経験年数は？

ア. 1年未満	4人
イ. 1～5年	13人
ウ. 6～10年	17人
エ. 11～15年	13人
オ. 16～20年	9人
カ. 21年以上	16人
無記入	1人



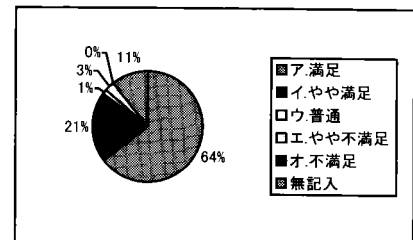
3. あなたの当研修会参加回数は？

ア. はじめて	33人
イ. 2回目	18人
ウ. 3回目	13人
エ. 4回目	6人
オ. 5回目以上	3人



4. 今回の研修会のテーマについて

ア. 満足	47人
イ. やや満足	15人
ウ. 普通	1人
エ. やや不満足	2人
オ. 不満足	0人
無記入	8人



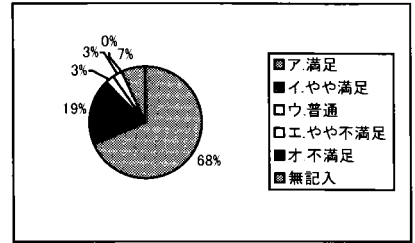
【4. テーマ「図書館をデザインする」についての意見や感想】

- 図書館の大小に関係ない良いテーマだったと思う。
- 最近は機械化がテーマとなる研修会が多くなる中、原点（利用者と図書館員）に視点を置いた良い研修会だと考える。
- 「図書館をデザインする」という視点はとてもよかったが、内容は満足のものと不満足のものとバラつきがあった。
- テーマは面白いけれど、内容を具体化するのが難しいと思った。

5. 基調講演について

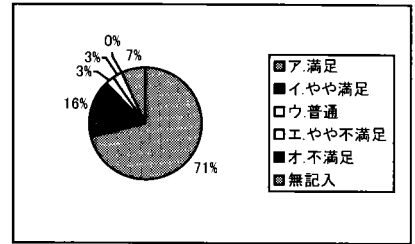
① 一日目

ア. 満足	50人
イ. やや満足	14人
ウ. 普通	2人
エ. やや不満足	2人
オ. 不満足	0人
無記入	5人



①-1) スライド

ア. 満足	52人
イ. やや満足	12人
ウ. 普通	2人
エ. やや不満足	2人
オ. 不満足	0人
無記入	5人

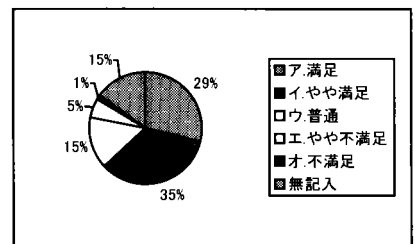


【5-① 基調講演一日目についての意見や感想】

- 大変フレッシュで、テンポよく、図書館員にはない視点からのするどいご意見には目からウロコが落ちた。この公演のためだけに来ても満足。
- 知識より意識を刺激された。
- 図書館側の思いと、利用者から見たイメージのギャップを痛感した。
- 公共図書館と教育機関である短大図書館は、一律にくれないと思う。
- 昨年と重複しているスライド・話が多かった。

② 二日目

ア. 満足	21人
イ. やや満足	25人
ウ. 普通	11人
エ. やや不満足	4人
オ. 不満足	1人
無記入	11人



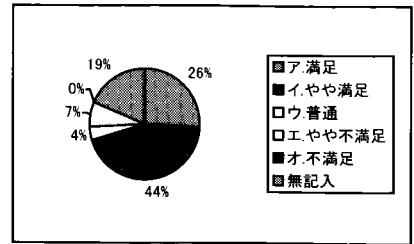
【5-② 基調講演二日目についての意見や感想】

- ネットの時代に、図書館員のあるべき姿を見失いつつあったので、どんな状況におかれているかを確認できて参考になった。
- 日頃感じていることを具体的に示され、共感し、参考になった。ただ、自館と比べて先進的過ぎて、圧倒される面が多かった。
- デジタル化や自動化するサービスの中で、人間としての司書の存在はどう変容するのか。Teaching Lib. だけが生き残る道だろうか？
- 公演内容が先進的であったので、今の私には理解が難しい。
- 講師の先生の声が聞き取りにくかった。

6. 分科会について

A. 「図書館員をデザインする」

ア. 満 足	7人
イ. やや満足	12人
ウ. 普 通	1人
エ. やや不満足	2人
オ. 不 満足	0人
無 記 入	5人

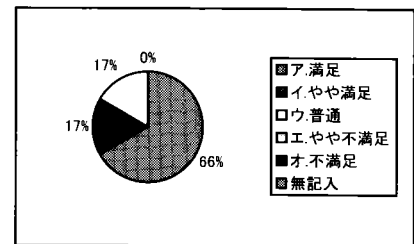


【6-A 分科会Aについての意見や感想】

- グループ討論だったので、いろいろな案を聞くことができてよかった。
- 午前中に引き続きのテーマでより深く考えさせられた。
- Teaching Library というものをはっきりつかめなまま演習に入り、討論の時間も不十分で何だかわからないうちに終わってしまったのが残念。
- 発表が少なく、討論にならなかった。
- もっと時間がほしかった。

B. 「図書館資料をデザインする」

ア. 満 足	8人
イ. やや満足	2人
ウ. 普 通	2人
エ. やや不満足	0人
オ. 不 満足	0人
無 記 入	0人

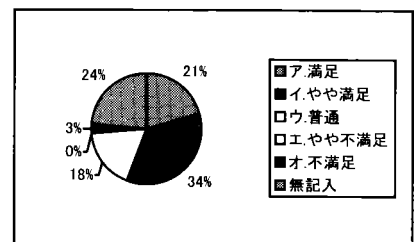


【6-B 分科会Bについての意見や感想】

- 読書離れの問題だけでなく、親の問題などすべてにつながるような気がした。少しでも、本を読む楽しさをわかってもらえるようアプローチしていきたい。
- 普段は聞くことが出来ないような、貴重なお話を聞くことができ、自館での今後の選書・企画展示やサービス等に結びつけていきたいと思った。
- 小規模だったが、子ども時代から短大時代までの「読書」のあり方が述べられ、とてもよかった。

C. 「図書館サービスをデザインする」

ア. 満 足	7人
イ. やや満足	12人
ウ. 普 通	6人
エ. やや不満足	0人
オ. 不 満足	1人
無 記 入	8人



【6-C 分科会Cについての意見や感想】

- アンケート結果をととてもわかりやすくグラフ化分析してあり、感心した。
- アンケートの論文化が楽しみ。できれば継続してほしい。
- アンケート設問の難しさを実感。参加者アンケートですら適切に回答できなかった部分があった。
- アンケートの分析をもう少し掘り下げて欲しかった。
- 司会者の発言が長いため、他の人の意見を聞く時間がなくなった。
- もう少し少人数の方が意見は出やすかったと思う。

7. 研修会の全体的なことについてのご意見・ご感想

【7 研修会の全体的なことについての意見や感想】

- 様々な工夫をすることで、図書館を活性化できると思った。研修に参加することで学ぶべきことが多くあると自覚した。
- 短大が減少している中、全国から集まり、情報交換ができてとてもよかった。
- 3分科会とも興味あるテーマだったので、全部参加できないのは残念だった。
- 一日目質疑応答の時間が欲しかった。多くの人が一言ずつでも発言できるよう工夫を。
- 参加していない分科会のまとめをもう少しゆっくり聞きたかった。
- 研修会を同一地区が2年連続でやるのはかなりきつい。1年交代がよいのでは。

8. 今後の研修会についてのご要望など

(ア) テーマについて

- 職員問題。アウトソーシング。
- 図書館の規模、館種を超えた基本のテーマを。
- 現場に直結した内容。

(イ) 講師について

- 今回のように、少し違った視点から図書館員の意義に呼びかけてくださる方がうれしい。
- 2日目は職員・司書でもよいのでは

(ウ) 開催時期について

- 現在の時期でよい。(夏期休業中)
- 試験前なので少しずらして欲しい。
- 時期は良いが、開催頻度を2年に1度位に。

(エ) その他

- 分科会の時間をもう少し取っていただきたい。
- 質疑応答の時間をもっと増やしてほしい。
- マイクを活用してもらいたかった。よく聞こえなかった。
- 地方での研修会は、交通の便からも大変だと思うので、今後は中央(関東・近畿地区)で開催してもらいたい。
- 冷房がきつく感じられた。



研修会に参加して

新しい“図書館づくり”をめざして

(四国学院短期大学図書館)

中井 公平

本年度の全国研修会はメインテーマ『図書館をデザインする』のもと、押樋良樹氏による基調講演「自館の魅力とイメージアップ戦略」、及び研修・講義「図書館を鮮度アップさせる 特集展示・企画の事例に学ぶ」と、二村健氏による講演「大学短大図書館における変化の諸相…急速に古くなる従来の図書館員像…」を中心に行われた。昨年度に続く押樋氏の図書館デザイン論は、図書館利用者にとって「快適性・明るさ・頼れる図書館員・新鮮度」等の存在こそが最も重要なアイテムである、との認識にたつて、如何にして図書館を視覚的にインテグレイティドしつつ魅力度を高めるか、をライトモチーフにしたものであった。スライド等による多数の事例紹介では、講師の短い鋭いコメントが印象的であり、参加者の中には、身につまされる者もおられたに違いない。また、音・香り・照明テクニークが実際のデザインングでは重要であるとの観点には興味深いものがあった。二村氏の講演では、激変する情報化社会で主体的に生き抜いていけるために、パソコン中心の情報リテラシー教育訓練支援サービスを、大学・短大図書館が主業務として行う Teaching Library に就いて、主に合衆国の大学の事例に基づいて話された。例えば UCLA では Teaching Library は、「学生を情報化社会に送り出すことに捧げられて」おり、また「UCLA の全卒業生が自分の専攻分野の情報資源とツールを徹底的に熟知し、効果的にそれらを使用する訓練がなされ、どの様な分野においても探索戦略を実施する準備が出来ていることを保証する」ことが Teaching Library の任務とされている等々である。Teaching Library を e-Library 化時代の図書館の主要業務と位置付けるならば、従来の図書館員像は急速に古く(!)なるのだろう。

その他三分科会での研修があり、小生が参加した第二分科会では、学生が、発達段階として短大生になる前の乳幼児～幼児～児童～小中高生までの期間にあって、「本(図書館)とのかかわり」がどの様なものであったのか、と云う反省的視点からの5名のパネリストの発題は、ヒトがコトバを聴くことによって初めてコトバを取得し、コトバと共に歩き始めることを改めて学んだ次第である。有意義で楽しい二日間をありがとうございました。

2年目の本気(?)

— 研修会内容を持ち帰って —

(岐阜聖徳学園大学短期大学部図書館)

寺澤 裕子

毎日が本当に忙しい。従来の本を中心とした図書館から情報センター的役割が求められ、業務が多様化してきている。私学経営の危機が叫ばれ、図書館内外の会議が半端でなく増えている。反して、人は確実に減り、人事異動も頻繁だ。図書館を愛し、この仕事をし続けていきたいと踏ん張っているつもりだが、時折疲れを感じてしまうこともある。そんな時には、何といたっても「図書館仲間」からのエネルギー補給だ。今回の全国研修会にもそんな期待があって参加した。

押樋良樹氏の講演、昨年の続編とも言える内容で引き続いてお話をうかがうことができたのは収穫であり、大きな意味があった。

昨年、お話を聴いて発憤、すぐさまテーマ展示の幾つかを試みた。が、少し気張りすぎたのか、しばらくすると息切れが始まった。研修会に参加した私一人の動きにとどまり、図書館全体の取り組みに発展できなかったことも反省点だった。今年は参加していない図書館スタッフにも研修会内容を丁寧に報告し、館員全員の合意で「図書館を魅力的にデザイン」していきたいと考えた。

そんな気持ちを察して下さったかのように、講師からは昨年以上に多くの事例と具体的指摘が示された。

図書館員の多くが真面目で、利用者を大切に思っている。でもその思いを伝える表現が上手くない。「イメージは見られて出来上がる」講師の言葉から、思いを伝える相手(利用者)をしっかりと意識して行動することの大切さを学んだ。

研修二日目は、第1分科会に参加。配布されたチェックリストで自館を分析後、短期、中・長期図書館改善ビジョンを考え、さらに理想の「図書館員をデザイン」していくという興味深い試みだったが、時間不足で十分な議論に至らなかったことが残念だった。

研修会から戻り、他の館員とともにサインの見直しや各種資料紹介を手がけ始めている。図書館の中身を外に紹介し続けること、「利用者の目と心」になって観察・点検し続けること、学んだ内容を忘れず歩み続けたい。

最後に、多忙な中、こうした研修会を企画・運営くださった九州地区を始め役員の方々に感謝申し上げます。

事務局報告

<会勢>平成15年12月10日現在

北海道15 東北18 関東・甲信越86 東海・北陸35
近畿58 中国・四国23 九州27 合計262館

<会議>

1. 平成15年度第2回全国理事会

日 時：平成15年9月12日（金）

場 所：福岡ガーデンパレス

議 題：1. 全国研修会について

2. 紀要について

3. その他

2. 平成15年度業務担当者連絡会議

開催日：平成15年12月11日（木）～12日（金）

場 所：東京ガーデンパレス

出席者：竹内紀吉 会長（千葉経済大学短期大学部）

居石幸子 本部事務局

（敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター）

馬場敏子 本部会計

（相模女子大学短期大学部附属図書館）

池口明希子 会報担当（平成15・16年度）

（聖和学園短期大学図書館）

清水孝子 紀要担当（平成15・16年度）

（仁愛女子短期大学図書館）

梅野智美 研修担当（平成15年度）

（九州大谷短期大学図書館）

木村修一 研修担当（平成16年度）

（北海道武蔵女子短期大学図書館）

議 事：1. 会長挨拶

2. 出席者自己紹介

3. 報告事項

① 会勢

② 平成15年度第2回全国理事会報告

③ 平成15年度中間会計報告

4. 協議事項

① 会報について

② 紀要について

③ 全国研修会について

④ その他

会報第54号については、印刷部数を500部とし、各地区会長館には加盟館+5部を配布する。紀要については、第24号を平成16年6月刊行する予定である。全国研修会については、平成16年度は北海道地区が担当し、以後は隔年で実施する。

<今後の予定>

1. 平成16年度理事会および総会

開催予定日：平成16年5月20日（木）、21日（金）

会場予定：第二丸善ビル

2. 平成16年度全国研修会

開催予定日：平成16年8月26日（木）、27日（金）

会場予定：北海道武蔵女子短期大学（札幌市）

<本部役員会記録>

この会議は、関東甲信越地区幹事会と同日開催。

第1回 平成15年4月15日

場所：桜美林大学新宿キャンパス

第2回 平成15年5月23日

場所：第二丸善ビル

第3回 平成15年7月7日

場所：幕張プリンスホテル

第4回 平成15年10月3日

場所：目白大学新宿図書館

第5回 平成15年11月14日

場所：十文字学園女子大学短期大学部

第6回 平成15年12月12日

場所：目白大学新宿図書館

本協議会創立25周年記念講演録『青年期をどう生きたか ―一冊の本との出会い―』は、6月に刊行された。

発行部数 500部 講師 献呈 40部

加盟館配布 300部

事務 配布 60部

実費 領布 100部（キハラ買取）

<出張>

日 時：平成15年9月11日、12日

会 場：福岡ガーデンパレス

竹内会長、馬場会計担当、居石庶務担当、

池口会報担当が全国研修会に出席。

地区活動報告

<北海道地区>

平成15年度研修会

日 時：平成15年 8月23日（土）10：00～16：00
場 所：北海道武蔵女子短期大学
内 容：テーマ「情報リテラシー支援の戦略を探る」
参加者：31名

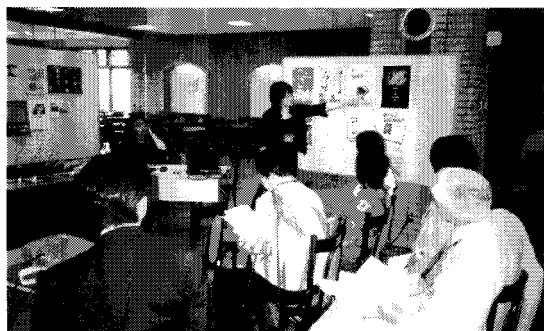
【午前】基調講演

講 師：野末俊比古氏（青山学院大学助教授）
演 題：「情報リテラシーと図書館～インターネット時代における理論的基盤と具体的戦略を探る～」

【午後】ポスターセッション方式交流サロン

（テーマ及び発表者）

- ・「札幌大学図書館における利用者支援～新入生向け図書館ガイダンスを中心に」石川恵子氏（札幌大学図書館）
- ・「SDI（選択的情報提供）～北広島市図書館におけるモニター事業の報告」新谷良文氏（北広島市図書館）
- ・「学校図書館の利用教育～パスファインダーを導入して」成田康子氏（札幌月寒高等学校）・山家亜紀子氏（札幌静修高等学校）
- ・「学生図書館ボランティア活動にみる利用者支援～学生（ボランティア）から学生（利用者）へ」柳橋望氏（北海道武蔵女子短期大学附属図書館）



※<ポスターセッション方式交流サロンについて>

ポスターセッション方式は、参加者が自らの意志で発表者のコーナーを順次移動しながら視聴するもの。発表者は、口頭での説明の他、ポスターや資料、パソコンなどを使い発表する。この方式は、発表者と参加者とが気軽な雰囲気の中で意見交換できるのが特徴。

<東北地区>

1. 平成15年度 東北地区協議会総会

日 時：平成15年10月10日（金）12：30～14：00
場 所：仙台ガーデンパレス
出席館：12館13名
委任状：6館
議 題：①平成14年度活動報告
②平成14年度決算報告及び監査報告
③平成15年度事業計画
④平成15年度予算
⑤平成15年度全国理事会総会報告
⑥平成15年度全国研修会報告
⑦平成22年度以降の輪番制について
⑧その他

2. 平成15年度 東北地区協議会研修会

日 時：平成15年10月10日（金）14：30～16：30
場 所：仙台ガーデンパレス
出席館：12館14名
内 容：①日常業務に関する問題討論会
A. 学生のマナーと利用教育
B. 収書と選書・除籍について
②地域開放と短大図書館
③その他
アドバイザー：竹内英典氏

（元宮城県図書館 資料奉仕部長
現 聖和学園短期大学 非常勤講師）

<関東甲信越地区>

1. 会 勢（平成15年12月5日現在）86館

<退会館>

東京工芸大学女子短期大学部図書館

2. 幹事会

○平成15年度 第2回

日 時：平成15年 5月23日（金）
場 所：第三丸善ビル3階会議室
議 事：①記念講演録について
②研修会について

○平成15年度 第3回

日 時：平成15年 7月7日（金）
場 所：幕張プリンスホテル
議 事：①記念講演録について
②研修会について

○平成15年度 第4回

日 時：平成15年10月3日（金）

場 所：目白大学新宿図書館
報 告：次期幹事館について
議 事：平成15年度研修会について

○平成15年度 第5回

日 時：平成15年11月14日（金）
場 所：十文字学園女子短期大学部
報 告：次回幹事会について

3. 会報第35号の発行

平成15年9月20日刊 総会関係

4. 研修会の開催

日 時：平成15年11月14日（金）
場 所：十文字学園女子短期大学部
テーマ：利用者サービスの第一歩
（図書館を取り巻くコンピュータ環境）
講 師：相生芳晴氏（丸善株式会社）
北原俊一氏（十文字学園女子大学講師）
参加者：28名

5. その他

①入会の勧誘

非加盟館64館に対して「会報35号」、
「研修会のご案内」を送付して、入会を勧誘
した。

②図書館・館員名簿の発送

加盟館、他地区理事館に送付した。

<東海・北陸地区>

1. 平成15年度第2回幹事会

日 時：平成15年7月4日（金）13：00～16：00
場 所：ユアーズホテルフクイ
出 席：7校9名
議 題：①全国理事会、全国総会報告および全国業
務（紀要）引継について
②総大会・研修会実施要綱（案）について
③「紀要」第24号原稿募集について
④会報「No.35」について

2. 平成15年度第3回幹事会

日 時：平成15年8月28日（木）11：00～12：30
場 所：ユアーズホテルフクイ
出 席：7校9名
議 題：①平成15年度総大会議事運営について
②平成15年度研修会について
③その他

3. 平成15年度総大会・情報交換会・研修会

《総大会》

日 時：平成15年8月28日（木）13：00～16：30

場 所：ユアーズホテルフクイ

出 席：16校25名、委任状21館

<総会>

- 議 題：①東海・北陸地区加盟館の現状報告
②平成14年度事業報告
および決算報告・監査報告
③平成15年度役員紹介
④平成15年度事業計画案および予算案
⑤規約改正についての報告
⑥本部業務「短期大学図書館研究」（紀要）
について
⑦平成16・17年度会長校および地区幹事校
の確認
⑧その他
・今後の本部業務について
・「総大会」の呼称について

<講演会>

「読みあいからみえてくるもの
～内なることばに耳をすます～」
講師：村中李衣氏（梅光学院大学短期大学部教授）

《情報交換会》

日 時：平成15年8月28日（木）17：00～19：00

場 所：ユアーズホテルフクイ

出 席：16校25名

《研修会》

日 時：平成15年8月29日（金）9：20～16：30

場 所：ユアーズホテルフクイ

福井県立恐竜博物館（勝山市）

出 席：16校25名

テーマ：読書環境にみる「癒し」と

大学・短期大学図書館の役割

○講演（午前）

演 題「自分の声に出会いなおそう

～絵本の読み合いA・B・C～」

講 師：村中李衣氏（梅光学院大学短期大学部教授）

演 題「ブックトーク『紡ぐ』」

講 師：乾 孝子氏（大野市図書館司書）

セッション「音が表現するもの」

フルート演奏：大久保功治氏

（仁愛女子短期大学音楽学科教授）

○見学（午後）

場 所：福井県立恐竜博物館（勝山市）

4. 平成15年度第4回幹事会

日 時：平成15年12月5日（金）14：00～16：00

場 所：仁愛女子短期大学

出 席：7校9名

議 題：①平成15年度総大会・研修会反省

②地区会報35号の編集について

③平成16年度総大会・研修会について

④平成16年度地区幹事校について

⑤「紀要」第24号現状報告ほか

⑥その他

・平成15年度退会申し出校について

・業務担当者連絡会議出席について

5. 「短期大学図書館研究」編集委員会

【第一回】

日 時：平成15年5月9日（金）

場 所：仁愛女子短期大学附属図書館

出席者：1館3名（印刷業者含む）

議 題：執筆依頼及び見積等について

今後の予定について

【第二回】

日 時：平成15年9月24日（水）

場 所：仁愛女子短期大学附属図書館

出席者：1館3名（印刷業者含む）

議 題：原稿依頼状況及び

執筆者との連絡について

2. 幹事会

①平成15年度 第1回

日 時：平成15年6月4日（水）

場 所：神戸女子短期大学図書館

出席者：3館3名

議 題：引継ぎ

②平成15年度 第2回

日 時：平成15年7月23日（水）

場 所：甲南女子大学佐藤研究室

平安女学院大学（高槻キャンパス）

出席者：4館4名

議 題：平成15年度第2回研修会について

③平成15年度 第3回

日 時：平成15年9月2日（火）

場 所：平安女学院大学（高槻キャンパス）

出席者：4館4名

議 題：・今後の全国研修会のあり方について

・平成15年度第3回研修会について

④平成15年度 第4回

日 時：平成15年11月6日（木）

場 所：天理大学附属天理図書館

出席者：4館4名

議 題：・平成15年第3回研修会について

・平成16年度研修会について

⑤平成15年度 第5回

日 時：平成15年12月2日（火）

場 所：天理図書館附属天理図書館

<近畿地区>

1. 研修会

①平成15年度 第2回

日 時：平成15年9月2日（火）14：00～16：30

場 所：平安女学院大学高槻キャンパス4106教室

出席者：21館29名＋非加盟館にも呼びかけ

9名の参加あり 計38名

テーマ：「メディアに見る図書館」

講 師：佐藤毅彦氏（甲南女子大学教授）

見学会：平安女学院大学情報メディアセンター

②平成15年度 第3回

日 時：平成15年12月2日（火）14：00～16：30

場 所：天理大学附属天理図書館

出席者：24館30名＋加盟館以外1名 計31名

内 容：見学会

<中国・四国地区>

1. 2003（平成15）年度地区協議会第二回役員会議開催

日 時：2003（平成15）年7月24日（木）14：00～15：30

場 所：四国学院短期大学図書館 館長室

出席者：会長館 四国学院短期大学図書館

館長 根本博愛（議長）

部長 東條文規、主任 中井公平

幹事館 高松短期大学附属図書館

課長 高杉和代

監査館 香川短期大学附属図書館

館長 占川 敦

主任司書 小野加代子（以上6名）

議 題：1. 協議事項

① 私立短期大学図書館中国・四国地区協議会会則第8条第3項（総会当番館）について

② 創立25周年記念講演会講演録の配布等について

③ 第18回2003（平成15）年度地区協議会「総会・研修会」資料について

④ 同「総会・研修会」準備物について

2. 第18回2003（平成15）年度 私短図協 中国・四国地区協議会 総会・研修会開催

日 時：2003（平成15）年8月1日（金）～2日（土）

当番館：四国学院短期大学図書館

場 所：湯元ことひら温泉 琴参閣（香川県琴平町）

見 学：金毘羅大芝居（金丸座）・金刀比羅宮博物館

参加者：12短大図書館（23名）（欠席校は委任状提出）

・地区協議会総会：8月1日（金）13：30～15：00

(1) 会務報告

① 2002（平成14）年度事業報告・会計報告

② 2002（平成14）年度監査報告

③ 2003（平成15）年度予算（案）について

④ 2003（平成15）年度事業計画（案）

⑤ 「会報」・「紀要」について

⑥ 2003（平成15）年度全国理事会・総会について

⑦ 私短図協創立25周年記念講演会講演録『青年期をどう生きたか……一冊の本との出会い……』について

(2) 協議事項

① 2003（平成15）年度地区協議会総会・研修会参加費について

・特別講演会：同日15：15～17：00

『讃岐の文学散歩』講師：作家 佐々木正夫先生

（日本文藝家協会会員、壺井栄文学館館長、『四国作家』『遍路宿』主宰）

・情報交換会：同日 18：00～20：00

・研修会：8月2日（土）09：00～12：00

「事例発表：図書館は利用者に何ができるか。」

（発表者4名氏名・敬称略）

瀬戸内短期大学：山本伸一

下関短期大学図書館：主任 井上ひとみ

四国大学短大部附属図書館：課長補佐 山本哲也

聖カタリナ女短大附属図書館：受入係長 山口慶子

・施設見学：13：00～16：00後、解散、終了

3. 全国研修会

日 時：2003（平成15）年9月11日（木）～12日（金）

当 番：九州地区協議会

場 所：福岡ガーデンパレス

内 容：研修会・分科会・情報交換会

中国・四国地区協議会からは9短大図書館9名が参加。

4. 2003（平成15）年第二回全国理事会出席

日 時：2003（平成15）年9月12日（金）9：00～10：00

場 所：福岡ガーデンパレス

出席者：10短大図書館12名

議 題：①全国研修会について

2004年度は北海道地区が担当する。以降はこれまでの担当地区を考慮して決定（略）。

②『紀要』について

25号以降は毎年度3月発行とする。

③その他

本日の協議案件は2004年5月の総会に報告する。

（以上）

<九州地区>

1. 平成15年度第1回幹事館会議

日 時 平成15年8月6日（水）12：30～13：30

場 所 香蘭女子短期大学 第3会議室

参加館 5館 出席者 7名

（福岡地区）聖マリア学院短期大学図書館、

香蘭女子短期大学図書館

（中部地区）佐賀女子短期大学図書館、

東九州短期大学図書館

（会長館）筑紫女学園大学・短期大学附属図書館

欠席館 1館

（南部地区）沖縄キリスト教短期大学図書館

議 題

1) 全国理事会報告

①平成15年度総会について

②創立25周年記念行事について

③アンケート集約結果について

④規約改正について

⑤各地区協議会の活動状況報告

2) 全国研修会について

3) 九州地区私立短期大学図書館&館員名簿の発行について

4) その他

・平成17・18年度会長館について

・平成16年度総会・研修会について

2. 平成15年度第2回幹事館会議

日 時 平成15年9月12日（金）11：45～12：15

場 所 福岡ガーデンパレス1階ロビー

参加館 5館 出席者 8名

（福岡地区）聖マリア学院短期大学図書館、

香蘭女子短期大学図書館

(中部地区) 佐賀女子短期大学図書館、
東九州短期大学図書館
(南部地区) 台風のため欠席
(沖縄キリスト教短期大学図書館)
(会長館) 筑紫女学園大学・短期大学図書館
議 題

- 1) 平成16年度全国研修会について(9/12全国理事会報告)
- 2) 「短大図書館研究」(紀要)について(9/12全国理事会報告)
- 3) 平成16年度九州地区私立短期大学図書館協議会総会および研修会について
- 4) その他
 - ・「紀要24号」応募原稿

一般論稿	1本
特集テーマ	3本
	計4本

<お知らせ>

○平成16年度理事会及び総会

開催予定日：平成16年5月20日(木) 理事会
平成16年5月21日(金) 総会
会 場 予 定：第二丸善ビル

○平成16年度全国研修会速報!

開催日：平成16年8月26日(木)～27日(金)
開催場所：北海道武蔵女子短期大学
札幌市北22条西13丁目

テーマ：図書館利用教育に関するワークショップ形式(双方向的)のプログラムを検討中

講師(予定)：毛利和弘氏(亜細亜大学図書館)・
仁上幸治氏(早稲田大学図書館)

※両氏とも日本図書館協会図書館利用教育委員
問合せ先：北海道武蔵女子短期大学附属図書館
木村修一 (E-mail:kimusyu@hmjc.ac.jp)

<< 編集後記 >>

今号は、昨年9月に福岡県で開催されました全国研修会関係記事をまとめました。

今までのインターネット・情報関係から一新、「図書館をデザインする」とのテーマは、仕事に追われる日々を送る私たちが、心の奥底にしまいこんだまま忘れてしまっていた、「図書館とはどんなものであるべきか」という基本に立ち返ることの大切さを、改めて教えてくれたような気がします。

当日は台風が沖縄を直撃、そして九州方面へ接近中、というあいにくな天候とはなりましたが、熱心な参加者の皆さんと、会を支える準備委員会のご尽力で、大変有意義な2日間となりました。ありがとうございました。

来年は北海道での開催となります。短大図書館を取り巻く状況が年々厳しくなっていく今だからこそ、私たちには勉強の場が必要であり、協議会の存在意義も重要となる、という会長の言葉を噛み締めつつ、次回研修会の成功を願ってやみません。

(池口)

